

## 必ずしも、田舎が年配者に優しいとは限らない。

「もう足腰も弱ったから、もっと田舎に引っ越してみようか」

そう考える人も多いのではないのでしょうか。

老後を、静かでのどかな田舎で暮らしたいと考えるのも、不思議ではありません。



たしかに田舎のほうが、人も車も少なく、静かに過ごしやすいことでしょう。

美しい自然があり、空気がきれいであることは、なによりの魅力です。

しかし、必ずしも、田舎が年配者に優しいとは限りません。

田舎には、田舎なりのデメリットもあるからです。

たとえば、田舎では、車が必須です。

車を運転できるうちはいいのですが、高齢になって車の運転ができなくなると、移動に苦しみます。

電車もバスも、田舎であるゆえに、本数が限られます。

病院に行こうと思っても、近くに病院がないため、手間も時間もかかるでしょう。

病院に行けたとしても、田舎であるゆえに医療レベルが低く、十分な医療を受けられないこともあります。

買い物をするにしても、近場にスーパーがなければ、不便です。

娯楽にしても、サービスが少ないため、暇つぶしに困ります。

田舎は刺激そのものが少ないため、ぼけの進行を早める可能性もあります。

田舎であるゆえの魅力がある一方、田舎であるゆえの不便もあるのです。

もし老後、引っ越す予定があるなら「田舎しかない」と決め付けず、メリットとデメリットを併せて考えておきましょう。

## 70代がしておきたいこと その13

**田舎に引っ越しするときは、田舎のデメリットまで考えてから、判断する。**